

ゆうゆう通信

令和3年2月10日発行 第37号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
電話 53-6048 FAX 53-6047



新年のぐい挨拶

ゆうゆう施設長・高松診療所長
金子 源吾

新年あけましておめでとございませう。昨年来のコロナ禍にあつても、ゆうゆうは無事に健やかなお正月を迎えることができました。これもひとえに利用者様はじめ関係各位のご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

昨年、ゆうゆうの現在の建物ができて10周年を迎えました。ただ、節目の年に十分なお祝いをする事ができず少し残念な気がしています。次の節目の年に期待したいと思ひます。

さて、令和3年の仕事始めにあたり、「with コロナ」の中で、皆様と一緒に頑張つていきたいと思います。年のゆうゆうの課題と目標について述べさせていただきます。まず、第一に、今年最大の課題は、何と言つても新型コロナウイルス感染症の発生です。万が一、施設内にクラスターが発生しますと一大事で、場合によっては存続の危機すら招きかねません。もちろん、クラスター対策も並行して考えておかなければなりません。まずは感染防止に最大限注意することは言うまでもありません。光明は近い将来ワクチン接種が始まることですが、コロナウイルス感染が収束するまでは利用者様には入所時の感染のチェック、ご家族との面会の制限など大変なご不便をおかけすることになります。引き続きご理解いただきたく思ひます。ゆうゆう職員はマスクの着用や手洗いの励行、3密（密閉、密集、密接）を避けて、絶対に感染しない、感染させない、そして、シトラスリボンプロジェクトの精神で、誹謗中傷をしない、を合言葉にしてこのコロナ禍を乗り切りたいと考えています。

そのほかの課題内容は毎年同様で、①医療・介護における安全対策、例年ですと、インフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症ですが、今年には特に新型コロナウイルス感染症防止です。そのうえで、日常業務ではインシデント・アクシデントレポートを徹底し、再発防止を図り、より安全なゆうゆうを目指すこと ②地域への貢献…通所型サービスC事業の継続、できれば、夏祭りや認知症カフェ、認知症サポーター養成講座などの開催・再開 ③パワハラ、虐待、飲酒運転の撲滅などコンプライアンス（法令）の順守 ④災害対策…防災訓練をしっかりとやることなど、それぞれの項目で確実に実行したいと思ひます。

昨年の「ゆうゆう」の大きな目標は在宅強化型から超強化型老健へ飛躍することでしたが、昨年4月に達成し、現在まで継続することができました。今年も信頼される介護サービスの提供に努め、皆様のご期待に沿えるよう一生懸命頑張ります。

皆様にとりまして、令和3年が明るく、希望に満ちた良い年であり、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

日赤奉仕団

ボランティアありがとうございます

11月28日に日赤奉仕団の皆様が越冬奉仕のボランティアに来てくださいました。

今年には新型コロナウイルス感染予防のため、外回りの秋の落ち葉や畑の夏野菜のあと片付けなどをお願いしました。片付けていただいたごみはなんと大きなごみ袋7袋にもなりました。奉仕団の皆さんのおかげで気持ちよく新年を迎えることができました。





2階 クリスマス会



当日まで、開催出来るのかどうかと不安の中準備を進めていきましたが、コロナ対策をしながら、12月24日午後お茶の時間にクリスマス会を行う事が出来ました。

クリスマスデザインの手作り封筒に利用者様がご自身で塗り絵をし、コロナの面会制限の為になかなか逢えないご家族に、利用者様の写真を入れてクリスマスプレゼントとしてお渡ししました。

また、職員がチンドン屋に扮して利用者様の周りを練り歩き、仮装とにぎやかな演奏をお披露目しました。職員のアコーディオン演奏に合わせて、「スキー」や「お正月」など、懐かしい歌をみんなで歌い、利用者様の満面の笑顔と大きな笑い声に癒されたひと時でした。

仮装した事務長や師長から一人ずつプレゼントを受け取り、中の写真を見て笑ったり、恥ずかしがったり、いつもより会話が弾んでいる光景もありました。

お茶菓子のクリスマスケーキ（ブッシュド・ノエル）は個々のかわいい箱に入っており、箱をそーっと開けて中のケーキを出している姿や、眺めている姿がありました。空き箱を記念に居室に持ち帰る方もいました♪



デイケア クリスマス



デイケアでは、12月14～16日にクリスマスに向けて、ミニツリーを作りました。

毎年クリスマスには作品を作って持ち帰っていますが、今年は何にしようか色々検討した結果、毛糸で作るクリスマスツリーにしました。これは、クリスマスカラーの緑や雪をイメージした白の毛糸に、木工用のボンドをつけて、円錐状の型に巻き付けて固まらせたものです。

これに赤や黄色や水色のミニボンボンやサンタやトナカイなどの飾りを好きなように張り付ければ、ミニツリーの完成です。

しかし、この毛糸を巻き付けてツリーを100個近く作るのに大変苦労しました。中には隙間がありすぎて転んでしまうものや、型から抜くときに壊れてしまうものなど、形の良いツリーを作るまでには、試行錯誤の連続でした。

利用者様が、好きな飾りを選んで、ボンドで張り付けていくと、とてもかわいらしいツリーが出来上がり皆さん喜んでいただきました。ツリーが乾いたら持ち帰ってさっそくご自宅に飾っていただきました。皆さんにはきつと素敵なサンタさんが来たことでしょう。



お茶会と初詣 3階Aチーム

お茶会では美味しい和菓子を食べてお正月気分を味わいました。「美味しいね」「可愛いお菓子だね」といつになく会話が弾んでいるようでした。その後、エレベーターホール入口に設けた、手作りのゆうゆう神社で初詣を行いました。利用者様一人一人が手をあわせて拝んだあと、大吉・中吉・小吉の入ったおみくじで今年の運試し。おみくじを嬉しそうにみせあっている光景に、職員も利用者様も『ほっこり♡』一人一人神社の前で写真を撮り、御家族に笑顔の写真をお届けしました。コロナ禍ではありますが、今年はいいい年になるよう願っています。



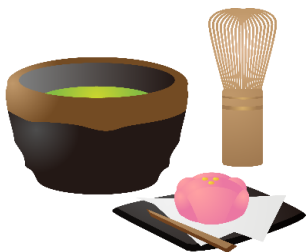
新年のお茶会 3階Bチーム

新年の催しとして、「お茶会」が行われました。まず、コロナを吹き飛ばす様に、元気なかけ声と共に餅つきを行いました。餅と言っても、綿を餅に見立てダンボールで作った杵と臼でつくもので、手返しを行ったり、餅をついたりしてお正月らしい雰囲気が出ていました。女性の利用者様が上手に手返しをする中、男性利用者様もとても良いリズムで手返しを行っていました。

餅がつけたところで、シートとバスタオルで大きなお供えを作り、皆さんで記念写真を撮りながら和やかに会が進んでいきました。

お茶会開始時には職員が着物を着て登場すると、「わーっ」と声が上がリ、利用者様の中には、「昔、着物を着てよく出かけた」という方、「着物が沢山家にあるけど、今はもう着れない」と昔を思い出して話して下さる方もいました。1月に入り、ユニットの壁には訪問着などの着物を飾り、雰囲気高める演出をしました。

集まった皆さんから良く見えるように、一段高い所でお茶を点て始めると、小さな動作もよく目に入った様子で、点て終わると拍手までももらえました。感染症対策でご家族との面会も出来ずに生活されている利用者様に、少しでも笑顔になってもらえるよう趣向を凝らしました。また、利用者様が着物を着ての撮影会も、別日に行われ、ご自分で選んだ着物と帯に満足した様子をカメラに収めました。後日、写真をご家族様にお渡ししながら近況報告も併せて行いました。



デイケア「お正月行事」

デイケアでは、1月5〜7日にかけてお正月行事として「絵馬」を作りました。また恒例の書初めを1月12〜15日にかけて行いました。

絵馬づくりは初めてでしたが、用意された絵馬に折り紙やミニボンボンなど好きな飾りを張り付けて、今年の自分の願い事を書いて完成です。「健康長寿」や「家内安全」など皆さん思い思いの言葉を書かれました。作った絵馬は早速持ち帰って、お家に飾って頂きました。今年もいいい年になりますように。

書初めは、久しぶりに毛筆を持つ方も多く、厳肅な雰囲気の中、様々なお手本から好きな文字を選んで書きました。「字は体を表す」という言葉がありますが、皆さん個性あふれる書を書いていただきました。作品はデイケア内に展示してありますので、ぜひご覧ください。



新鮮な野菜を

いただきました。

11月のある晴れた日に、上郷なかよし保育園の園長先生が新鮮な野菜を届けてくださいました。立派な白菜と大根は園児の皆さんが育てた無農薬の野菜だそうです。ゆうゆうの調理場に届けると、デイケアの皆様には白菜のおひたしに、入所者の皆さんには大根の煮物として、その日のお膳にのりました。「今日のおかずの白菜と大根は、保育園児の皆さんが作って届けてくれたものですよ」と説明すると、利用者さんからは「はれ、ありがたいなあ」「軟らかくて、味がよくしみ込んどうるに」「今日は特別に美味しいなあ」と、嬉しいお声をいただきました。コロナウイルスの影響で例年の行事ができなため、食育の一環で始めた野菜づくりですが、思った以上に豊作で大喜びだったそうです。ふと、小さい頃に畑を手伝っていた時のことを思い出し、裸足で歩く土の気持ち良さを懐かしく感じました。園児の皆さん、ありがとうございました。



手工芸クラブ

毎週活動していきます。

ゆうゆうでは、作業療法(リハビリ)の一環として手工芸クラブを行っています。目的は、趣味や楽しみの場を持つことで各々の持つ作業能力を発揮し意欲を持ってもらい、手先の運動、認知機能に働きかけることです。また、周囲の方と交流し、励ましあって取り組むことで社会交流を促すことも目指しています。物忘れのある方も、昔なじみの活動(縫物や針仕事など)を取り入れ、手続き記憶を用いることで作業活動に取り組みやすくする工夫もしています。

作業の種類は、ネット手芸やビーズ細工(ブレスレット、ネックレスなど)キーホルダー(ひょうたん、キューピー、帽子)クラフト(かご、刺し子等をそろえています。その他、得意な作業があれば、ぜひ職員に教えてください。ご希望の方は職員に一声下さればお誘いします。



新入職員紹介

調理員

中平勝美



12月16日から栄養管理係でお世話になります。「中平勝美」と申します。

不慣れな事ばかりで皆様にご迷惑をおかけしておりますが、一日も早く仕事を覚えてチームの一員として力になれるように頑張っていくと思います。宜しくお願い致します。

編集後記



飯田下伊那にも新型コロナウイルスの波が押し寄せてきました。そんな中、市民ボランティアの方から、医療・介護職への応援の気持ちのこもった手作りのシトラスリボンをいただきました。

いつ、誰がコロナに感染してもおかしくない状態です。「不幸にもコロナに感染してしまった方を誹謗中傷せず地域で温かく迎え入れよう」というリボンに込めた想いが、飯田下伊那に、日本中に、広がることを願っています。

(大)

